

一般選抜（一般 A-1・A-2・B・C 方式） 各受験科目の求められる学力水準

英語

本学の英語の試験では、読解・語法・語彙・会話文などについて、基礎学力を問う問題が出題されます。基本的な単語・熟語の意味と用法を身につけ、基本文法をマスターすることが大切です。また社会と文化に関する英文の構成と意味内容を理解できる力を養ってください。高等学校の教科書と標準的な参考書・問題集を用いた学習を心がけましょう。

国語

論説文や小説など、現代文の長文読解問題では、文章全体の主旨を理解できているか、特定の文章の意味を理解できているかなどを問います。出題文の難易度はおおむね高等学校の教科書と同程度です。基本的な読解力が備わっているかを審査するとともに、記述式問題では、文章等の内容や構造を把握し、解釈して、考えたことを端的に記述できるかを審査します。

漢字、語句の意味、慣用句や敬語表現の用法などを問う問題では、社会生活に必要な基礎的な国語力が備わっているかを審査します。

日本史

日本史の試験では、古代・中世史、近世史、近・現代史の時代区分にしたがって、政治・外交、経済、社会、文化にわたり幅広く設問が配されています。日本史認識の基本が身についているかどうかを試験するものです。したがって、試験勉強としては、教科書を丁寧に読み込み、用語集や日本史年表などを使って、基本的な歴史用語を理解し、全体としての日本史の流れをイメージできるようにしておけば、十分に対応できるものです。

世界史

高等学校で学んだ歴史的理解力を問うことから、教科書を理解していれば十分に解ける問題です。各設問では「歴史の流れ」をしっかり理解しているかどうか問われます。世界史の学習では「ある出来事がどのような原因で発生し、その後どのように影響を及ぼしたのか、その出来事が同時代の他の地域にどう影響を与えたのか」を理解することが重要です。

政治・経済

政治・経済に関する基本的な原理や仕組みを理解しており、それにもとづく判断力・思考力があるかを問う問題が中心となっています。高等学校の教科書をよく読み、用語集などで重要な専門用語を整理しておくことも大切です。今日の政治や経済の問題・課題に対して関心を持つことにも心がけてください。政治分野・経済分野の2つの分野から、バランスよく出題されます。